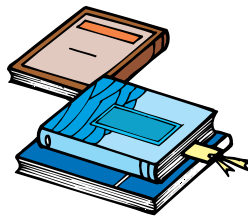


ほんの森

図書館 ☎ 84-3311



図書館休館日
12月29日(金)～1月4日(木)
毎週月曜日

子ども映画会

『おかあさんのやさしい手』ほか

●日 時 1月21日(日)
・午前10時～
・午後2時～

●上映時間 65分

●場 所 2階ハイビジョン
ホール

●定 員 各回120名

●入 場 整理券(無料)を1月6日(土)から
配布します。ご希望の方は図書館
カウンターまでお越しください。



金曜映画会

『愛しいとしの花子さん』ほか

●日 時 1月26日(金)
午後2時～

●場 所 2階ハイビジョンホール

●定 員 先着100名
※整理券は不要です



図書館ギャラリー『アンティーク・キルト展』

1月6日(土)～2月4日(日)まで

ヨーロッパから新大陸へ渡った女性たちはまず、生活の必需品として端布れからキルトを作りました。シンプルなデザインの中にもそれぞれの意味があります。古き良きキルトをご鑑賞ください。



文芸

◆俳句

未枯れの荒田に白き鳥の影

浅野 茂子

咳払いひとつ残して冬に入る

池田 逸子

吹き抜けの空仰ぎ見る冬帽子

伊藤 敬子

束の間とおもう一年歳の暮

伊藤 定男

赤き指葛湯の碗を囲み持ち

今関満喜子

降り積る積る銀杏が風に舞う

魚地 照子

天に向け裸木いよいよさぎよし

江森 悦子

禁獵区悠悠閑閑鴨の群

川島 孝夫

画の如く里の夕日や山眠る

桑名 大行

熱燗を独り静かに含みけり

向後 寛

末端に景気とどかぬ年の暮

越川 義則

冬澄めり土蔵の壁の白さかな

佐瀬 輝夫

掃きよせて炎静かに歳暮る

椎名万理子

色浅き通草に戻るみちしるべ

宍倉 道子

湯のけむりふところ深く山眠る

玉虫 栗扇

山眠る中をバス行く三千院

福田 幸子

オリオンの磨き抜かれし年一夜

布施 和代

川二つ合って海へと冬鷗

丸山 照美

冬野には淋しき樹々の影ばかり

村上 淳

葛湯のむ姉妹のけんかの納め時

山口 一秋

言はざるは聴かざることに
日向ぼこ

渡部 和秋

◆短歌

美術館汚れたらけの人物画に
古代美術の不思議さを見る

鈴木 益郎

八十路越えグランドゴルフに
行く朝の夫の横顔きと

土屋 好

秋咲きの薔薇一輪が雨に濡れ
紅深く咲きてるにけり

永藤 滋

餓死までを幼はいかに過せしか
親の躰の異常を思ふ

池田 春江

診察台のシート替ふるも最後かと
手伸しアイロン丁寧になす

西山満里子

夫食べし野菜炒めの皿隅に
ピーマンだけが今日も残れり

八角 三枝

いつの頃この地に殖えしか背高泡立草
三内丸山遺跡にあまた咲きあつ

押尾 輝子

物忘れ互に言ひつつ笑ひ合ふ
ゲートボールの後お茶を飲みつつ

吉岡 信子

知らず知らず耐へていたるか吾が犬歯
磨り減り酷しと歯科医師の言ふ

田崎 尚美

勤め終へ家路と逆の病院に
吾を見舞ふと娘は寄ってくる

佐瀬 初音

水をやると花の根本をはつかゆらし
小さき蜥蜴の走り去りたり

芹川 初子

仲よきが集ひて河豚を食べる会
年経ていつか二人となりぬ

長谷川正子

見の限り芒揺れるる仙石原
亡夫と来し日の甦りきぬ

鈴木まさ子

ソプラノの歌手は姪の友といふ
響かふ声の心地好きな

平山 芳子

総野より出でしナウマン象の牙
見つししばらく遠世に遊ぶ

斎藤つね子